

第3のイミダペプチド「バレニン」



■クジラとバレニン

バレニンとは：

ヒゲクジラ*はアンセリン・カルノシン・バレニン3つのイミダゾールジペプチドを筋肉中に持っています。この中でもバレニンは大量に持っており、このバレニンが数千キロを泳ぎ続けるパワーの源とも言われています。



*鯨類はヒゲクジラとハクジラに大別され、ミンク鯨やナガス鯨などのヒゲクジラはバレニンを多く含んでいます。

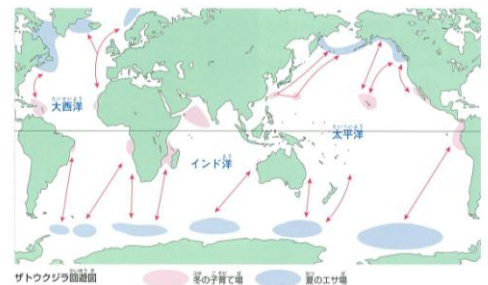
クジラの生態：

世界最大の動物「クジラ」

クジラは哺乳類。海中・陸上の生物の中で最も大きな動物です。現在確認されている鯨84種類のうち、シロナガス鯨は25m程度。現在日本で調査で捕獲されているイワシ鯨でも15m程度あるものもいます。

数千キロを回遊して暮らしています。

種類によって生息場所は異なり、赤道付近の暖かい海から南極や北極の冷たい海まで世界中の海に生息しています。シロナガスクジラやミンククジラなど季節によって赤道付近から南極あるいは北極までの長い距離を回遊しているクジラもいます。



■クジラエキスB8の原料

クジラエキスの原料であるクジラ肉は、日本政府の許可のもと実施されている鯨類捕獲調査の副産物から製造されています。1頭ごとにDNA管理された安心・安全な原料です。

■食経験が豊富な食材

日本で最初にクジラを食した痕跡は縄文時代に遡り、江戸時代には庶民の食として広がりました。現在でも日本各地に根付き、季節や祝いの席に華を添える存在となっています。

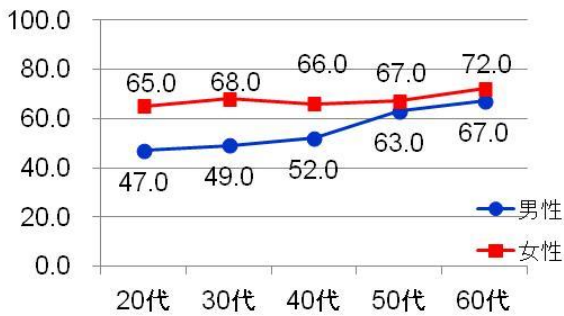


一般消費者の「疲労」と「クジラ」に関するアンケート調査

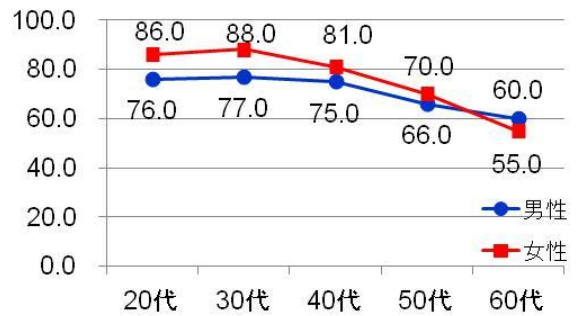
疲労とバレニンに関する意識調査

- 調査対象：20～69才の男女 1000名
- 調査地域：全国
- 調査実施年月：2012年6月

■ 鯨肉に疲労回復効果のあるアミノ酸物質
バレニンが多く含まれていることに驚きがある。



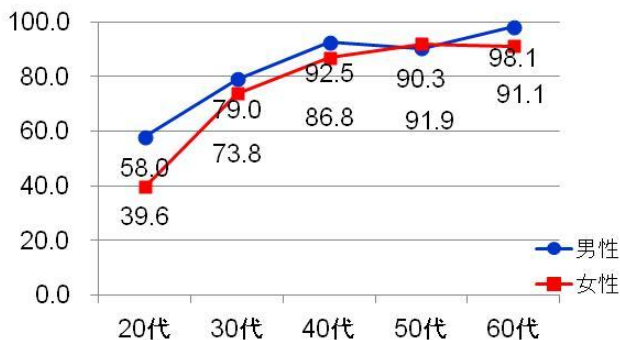
■ 現在疲労を感じることもある。
(常にまたはときどき疲労を感じる。)



クジラ肉消費に関する意識調査

- 調査対象：20～69才の男女 560名
- 調査地域：首都35km圏
- 調査実施年月：2008年3月

■ クジラ肉を食べたことがあるか？



■ クジラ肉を使った料理を食べたい
または食べても良いと思うか？

